2026年11月9日

お客様各位

レオス・キャピタルワークス株式会社

11月6日の「ひふみプラス」の基準価額下落について
（11月6日 基準価額：72,564円、前日比－4,550円、下落率－5.90%）

ひふみをご愛顧いただいている皆様へ

11月6日は、ひふみプラスの基準価額が72,564円（前日比－4,550円）、下落率－5.90%と下落し、お客様にはご心配をおかけしております。

この数日、日本の株式市場は大きく下落しています。特にAI・半導体関連株を中心に厳しい調整が続いており、ニュースをご覧になって不安を感じていらっしゃる方も多いと思います。現在の状況をできるだけわかりやすく整理してお伝えしたいと思います。

■今回の下落の直接のきっかけ

今回の急落の直接のきっかけは、米国中間選挙における民主党の上下両院での多数奪還です。選挙結果とともに、主要なデータセンター集積地や有力な建設候補地において、民主党候補が相次いで勝利したことが伝わりました。これにより、今後のAIデータセンター向け設備投資の認可・推進が遅延、あるいは縮小されるのではないかという懸念が市場に広がり、AI・半導体関連企業の株価が大幅に下落しました。これらの企業にとって、データセンターの建設拡大は利益成長を支える最も重要な前提の一つでした。その前提が揺らいだことで、市場が敏感に反応したのです。ただし、今回の動きは選挙結果だけで説明できるものではありません。市場にはすでに複数の不安要因が積み重なっていました。

一つ目は、AI関連投資の過熱感への懸念です。
ここ数年、AI・半導体関連への期待を背景に株価は大幅に上昇し、関連企業への設備投資も急速に膨らんできました。しかしその一方で、「投資の拡大があまりにも急ピッチではないか」「本当に需要がそこまで伸びるのか」という過剰投資への懸念が、市場の一部にはすでに意識されていました。今回の選挙結果は、そうした潜在的な不安に火をつける出来事となりました。

二つ目は、銀行株など相場の緩衝材が機能しにくい環境であることです。
今年7～8月に相場が調整した際には、国内金利上昇の恩恵を受けた銀行株が相場の安定装置として機能しました。しかし足元では、銀行株も利益確定売りや金利動向の一服を背景にやや頭打ちとなっており、今回のAI・半導体株の下落を下支えするクッションとして機能しにくい状況にあります。これが今回の局面をより難しくしている要因の一つです。

三つ目は、AI・半導体関連株の高いバリュエーションです。
AI・半導体関連株はこれまでの上昇を経て、業績期待を先取りした高い株価水準にありました。こうした

状況では、将来の成長シナリオに少しでも疑念が生じると、株価が大きく下振れしやすい状態になります。ただ一方で、AI・半導体関連株のバリュエーションがかなり調整され割安になってきている企業もあるとみています。

■ひふみのポートフォリオについて

こうした厳しい局面において、私たちのポートフォリオを支えているのが、AI・半導体とは相関の薄い内需・ディフェンシブ関連の投資先企業です。不動産関連や、伊藤忠商事をはじめとする高い事業クオリティを持つ企業群は、独自の競争力と安定した収益構造に裏打ちされており、外部環境の変化に左右されにくい特性を持っています。ひふみでは、特定のテーマや業種に過度に偏ることなく、業種・投資テーマ・業績ドライバーを意図的に分散させながらポートフォリオを構築してきました。今回の局面は、その方針の有効性を改めて実感させてくれる場面でもあります。また、足元では多くの投資先企業が中間決算を迎えており、市場予想を上回る利益成長を示す企業も相次いでいます。AI・半導体ブームの陰に隠れていた非AI・半導体関連企業への市場の評価が、徐々に変化しつつあることを肌で感じています。

■長期の視点から

市場というのは不安が表に出ると、往々にして過剰に反応します。私もこれまで、幾度となくこうした厳しい局面を経験してきました。今回の下落が示しているのは、AIへの期待だけで株価を押し上げる局面には限界があるということかもしれません。しかしそれは同時に、真に持続的な利益成長を実現できる企業が、改めて正当に評価される機会の始まりでもあると考えています。私たちひふみが大切にしているのは、一時的な追い風に依存するのではなく、構造的・本質的な競争力に裏打ちされた企業への投資です。そして、その成長を実現する原動力となる優れた経営者・経営陣の存在を重視しています。マクロ環境が不透明さを増す局面だからこそ、経営者の判断力・実行力が企業価値を大きく左右するからです。市場が神経質な状態はしばらく続く可能性もあります。しかし、株式市場は長い時間軸で見ると、企業の成長とともに確実に価値を生み出してきました。今のような不安な局面こそ、落ち着いて企業の本質的な価値を見つめ、長期の視点で投資を継続することが重要だと確信しています。

市場がまだ気づいていない成長の種を、誰よりも早く、誰よりも深く見つけ出すことに全力を尽くしながら、皆様の大切な資産と夢を背負い、ひふみはこれからも力強く前進してまいります。

引き続き全力で運用してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

※当該銘柄への投資を推奨、勧誘するものではありません。

ひふみプラス運用責任者
内藤 誠

「ひふみプラス」に係るリスクについて

■ 基準価額の変動要因

- 「ひふみプラス」は、マザーファンドを通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。

■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。
カントリーリスク（エマージング市場に関わるリスク）	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

お客様の負担となる費用について

◇直接ご負担いただく費用
申込手数料 ：3.30%（税抜き3.00%）を上限として、販売会社が定める料率とします。
「自動けいぞく投資コース」において、収益分配金を再投資する場合は無手数料です。
信託財産留保額：ありません。
◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

<table>
<tr><td>運用管理費用
（信託報酬）
※上段は年率
下段は税抜年率</td><td>信託財産の日々の純資産総額に対して下記に記載の率を乗じて得た額。
信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の６ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき「ひふみプラス」の信託財産から支払われます。また、ひふみプラスは、純資産総額が一定金額に達すると、一定金額を超えた部分に対して信託報酬が逓減される仕組みとなっています。
運用管理費用の配分（上段は年率、下段は税抜年率です。）
<table>
<tr><th>純資産総額</th><th>委託会社</th><th>販売会社</th><th>受託会社</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>500億円まで</td><td>0.5005%
（0.4550%）</td><td>0.5005%
（0.4550%）</td><td>0.0770%
（0.0700%）</td><td>1.0780%
（0.9800%）</td></tr>
<tr><td>500億円を超える部分</td><td>0.4455%
（0.4050%）</td><td>0.4455%
（0.4050%）</td><td>0.0770%
（0.0700%）</td><td>0.9680%
（0.8800%）</td></tr>
<tr><td>1000億円を超える部分</td><td>0.3905%
（0.3550%）</td><td>0.3905%
（0.3550%）</td><td>0.0770%
（0.0700%）</td><td>0.8580%
（0.7800%）</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>その他費用・
手数料</td><td>組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税等）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用（監査費用）およびそれにかかる消費税等、受託会社の立て替えた立替金の利息など。
監査費用は日々計算されて毎計算期末または信託終了のとき、その他の費用等はその都度ファンドから支払われます。
これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。</td></tr>
</table>

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークス（以下「当社」といいます。）が投資家のみなさまに情報提供を行なう目的で作成したものです。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 当資料のコメント等は、掲載時点での当社の見解を示すものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きや結果を保証するものではありません。ならびに、当社が運用する投資信託への組み入れ等をお約束するものではなく、また、金融商品等の売却・購入等の行為の推奨を目的とするものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

RHEOS CAPITAL WORKS
レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長(金商)第1151号
加入協会　一般社団法人資産運用業協会

販売会社（銀行）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。
※販売会社には取次先金融機関が含まれます。

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社あおぞら銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第8号	○		○	
株式会社青森みちのく銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第1号	○			
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第2号	○			
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第43号	○		○	
株式会社イオン銀行（委託金融商品取引業者　マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社伊予銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第2号	○		○	
株式会社岩手銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第3号	○			
株式会社SBI新生銀行（委託金融商品取引業者　マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社愛媛銀行（つみたて投資枠専用）*1	登録金融機関	四国財務局長（登金）第6号	○			
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第1号	○			
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社沖縄銀行	登録金融機関	沖縄総合事務局長（登金）第1号	○			
株式会社鹿児島銀行（委託金融商品取引業者　九州FG証券株式会社）	登録金融機関	九州財務局長（登金）第2号	○			
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第7号	○		○	
株式会社北九州銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第117号	○		○	
株式会社京都銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社京都銀行（委託金融商品取引業者　京銀証券株式会社）	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第6号	○			
株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第46号	○		○	
株式会社京葉銀行（つみたて投資枠専用）*1	登録金融機関	関東財務局長（登金）第56号	○			
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第1号	○		○	
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第11号	○		○	
株式会社四国銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第3号	○			
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第5号	○		○	
株式会社七十七銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第5号	○		○	
株式会社清水銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第6号	○			
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第3号	○			
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第6号	○			
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第45号	○		○	
スルガ銀行株式会社	登録金融機関	東海財務局長（登金）第8号	○			
ソニー銀行株式会社*2	登録金融機関	関東財務局長（登金）第578号	○		○	○
株式会社第四北越銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第47号	○		○	
株式会社但馬銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第14号	○			
株式会社筑邦銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第5号	○			
株式会社千葉銀行（つみたて投資枠専用）*1	登録金融機関	関東財務局長（登金）第39号	○		○	
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第40号	○			
株式会社東和銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第60号	○			
株式会社栃木銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第57号	○			
株式会社鳥取銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第3号	○			
株式会社長崎銀行（つみたて投資枠専用）*1	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第11号	○			
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第15号	○			
株式会社西日本シティ銀行（つみたて投資枠専用）*1	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第6号	○		○	
株式会社八十二長野銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第49号	○		○	
株式会社肥後銀行（委託金融商品取引業者　九州FG証券株式会社）	登録金融機関	九州財務局長（登金）第3号	○			

＊1 つみたて投資枠専用の場合、つみたて投資枠以外でのひふみプラスのお取り扱いはございません。
＊2 一般社団法人日本STO協会にも加入しております。

販売会社（銀行）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。
※販売会社には取次先金融機関が含まれます。

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第5号	○		○	
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第7号	○		○	
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第18号	○			
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○		○	
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第10号	○			
株式会社北洋銀行	登録金融機関	北海道財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長（登金）第1号	○		○	
株式会社三井住友銀行 （委託金融商品取引業者　SMBC日興証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第54号	○		○	○
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第649号	○	○	○	
株式会社三菱UFJ銀行 （つみたて投資枠専用）[*1]	登録金融機関	関東財務局長（登金）第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行 （委託金融商品取引業者　三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社） （つみたて投資枠専用）[*1]	登録金融機関	関東財務局長（登金）第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社[*2] （つみたて投資枠専用）[*1]	登録金融機関	関東財務局長（登金）第33号	○		○	
株式会社もみじ銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第12号	○		○	
株式会社山口銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第6号	○		○	
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第41号	○			
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第36号	○		○	

＊1 つみたて投資枠専用の場合、つみたて投資枠以外でのひふみプラスのお取り扱いはございません。
＊2 一般社団法人日本STO協会にも加入しております。

販売会社（証券会社・その他金融機関）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○		
朝日信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第143号	○			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券[*2]	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○	○	○
株式会社SBIネオトレード証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第8号	○		○	
FFG証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第5号	○			○
岡崎信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第30号	○			
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社（つみたて投資枠専用）[*1]	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第169号	○			
おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第19号	○			
おきぎん証券株式会社	金融商品取引業者	沖縄総合事務局長（金商）第1号	○			
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第191号	○			
九州FG証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長（金商）第18号	○			
京銀証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第392号	○			
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2938号	○			
四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長（金商）第21号	○			
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第10号	○			
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長（金商）第37号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第77号	○		○	○
Jトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第35号	○	○	○	
十六TT証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第188号	○			
株式会社スマートプラス	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3031号	○	○		○
第一生命保険株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第657号	○	○		
大和コネクト証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3186号	○			
大和証券株式会社[*2]（つみたて投資枠専用）[*1]	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第6号	○			○
tsumiki証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3071号	○			
東海東京証券株式会社[*2]	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○	○	○	○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第24号	○			○
長野證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第125号	○	○		
南都まほろば証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第25号	○			
野村證券株式会社[*2]（つみたて投資枠専用）[*1]	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第21号	○	○		
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第1977号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○			
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第20号	○			
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第44号	○			
PayPay証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2883号	○			
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長（金商）第24号	○			
北洋証券株式会社	金融商品取引業者	北海道財務局長（金商）第1号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
三菱UFJ eスマート証券株式会社[*2]	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社[*2]（つみたて投資枠専用）[*1]	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2336号	○	○	○	○
moomoo証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3335号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
リテラ・クレア証券株式会社（つみたて投資枠専用）[*1]	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第199号	○			

＊1 つみたて投資枠専用の場合、つみたて投資枠以外でのひふみプラスのお取り扱いはございません。

＊2 一般社団法人日本STO協会にも加入しております。

投資信託の手数料等およびリスクについて

当社取扱いの投資信託のお申込み、一部の投資信託のご換金にあたっては、お申込み金額に対して最大3.3%（税込み）の申込手数料または換金手数料をいただきます。また、換金時に直接ご負担いただく費用として、信託財産留保額をご負担いただくことがあります。投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用として、信託財産の純資産総額に対する信託報酬のほか、運用成績に応じた成功報酬、運用会社報酬等の名目でご負担をいただくことがあります。また、その他の費用を間接的にご負担いただくこともあります。

投資信託は、主に国内外の株式をはじめとした値動きのある証券を投資対象とするため、当該資産の市場における取引価額の変動や為替の変動等により基準価額が変動します。従って損失を生じるおそれがあります。

なお、投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては目論見書等をよくお読みください。

おきなわフィナンシャルグループ
おきぎん証券

おきぎん証券株式会社
金融商品取引業者
沖縄総合事務局長（金商）第１号
加入協会　日本証券業協会

【雛審　2022.11.9】